

あらゆる荷重に対応可能なプレキャスト最大クラスの雨水貯留槽

ウォーターウォール

ウォーターウォールは、施工性のよいプレキャスト構造と経済性のよい現場打ち構造を組合わせたハーフプレキャスト製の雨水貯留槽です。厳しい条件下（ロングスパン、上載荷重T-25、高土被り、編土圧など）においても対応でき、これまで困難とされていた条件でも設置が可能です。



特長

1 経済性に優れたハーフプレキャスト構造

従来のプレキャスト工法に比べ、プレキャスト比率を低減している為、経済性に優れます。

2 耐荷重に優れたプレキャストコンクリート製

土被りや内空高を大きく取れ、偏土圧や浮力にも対応できます。

3 耐震性に優れた構造設計

(公社)日本下水道協会の下水道施設の耐震対策指針と解説、下水道施設耐震設計例に準拠しています。

4 剛性に優れた頂版の接合構造

頂版部の隅角部は、フック継手を使用して剛結合としました。

5 剛性に優れた底版の一体構造

応力の集中する底版部の隅角部は、自立するL型及び逆T部材で一体構造としました。



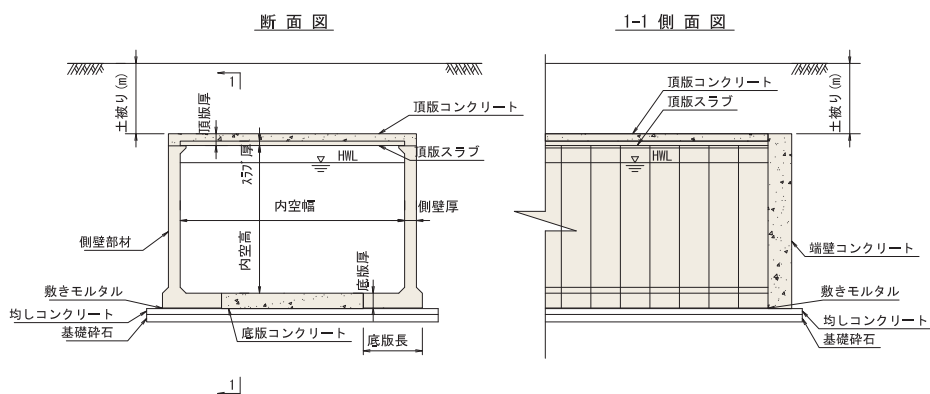
▶ 一般条件

適用土被り	0.0～3.0m
上載荷重	T-25
内空高さ	4.0～10.0m程度
耐震性能	レベルI、II対応

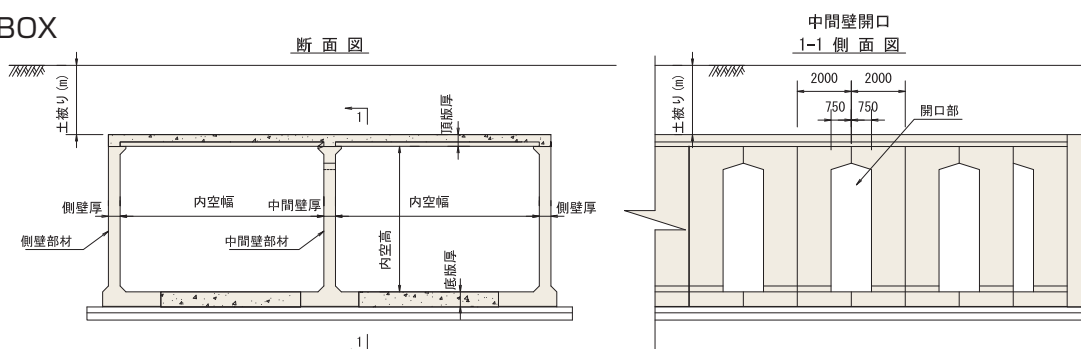
※上記外の場合は、個別に検討致します。

種類

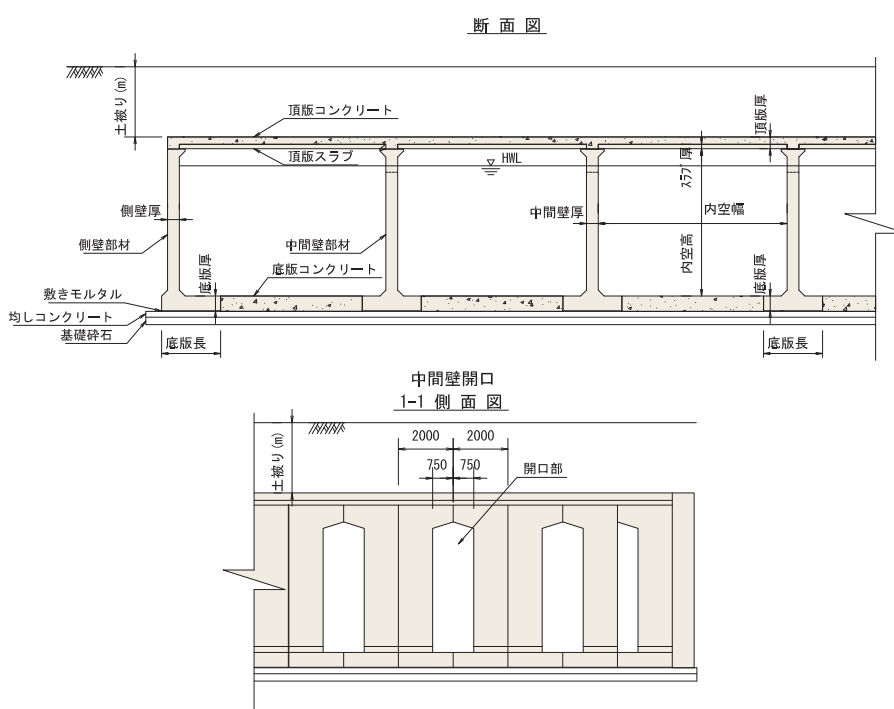
▶ 1連BOX



▶ 2連BOX



▶ 多連BOX



ウォーターウォール

施工手順

①基礎工



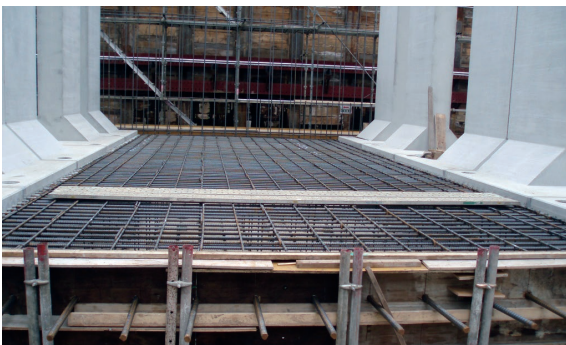
②側壁・中間壁部材据付工



③緊張工



④底版配筋・コンクリート打設工



⑤頂版スラブ据付工



⑥頂版配筋・コンクリート打設工



⑦目地防水工



⑧完成



施工事例

▶ 千葉県 市川市 (1連BOXタイプ)

完成年度:平成19年度

貯留容量:①2,500m³ ②1,970m³

構造物規模:①内幅7.3m×内高6.0m×延長86.0m ②内幅8.3m×内高5.0m×延長68.0m



▶ 神奈川県横須賀市 (2連BOXタイプ)

完成年度:平成20年度

貯留容量:1,290m³

構造物規模:内幅15.35m×内高4.5m×延長27.0m



▶ 埼玉県三芳町 (多連BOXタイプ)

完成年度:平成22年度

貯留容量:6,420m³

構造物規模:内幅44.4m×内高7.0m×延長22.0m

